**資料14－③（朱書箇所、ページ数は消去すること。）**

**※　諸事情により承諾を得難い場合は資料14-⑤を提出すること。**

**※　１名の研究者が複数の論文で共著している場合は、１枚の使用承諾書に複数の共著論文を連記することも可能。あるいは、同じ研究室内の複数の研究者が共著になっている場合等、1枚の使用承諾書に対して、複数の共著者がサインすることも可能だが、一つの原紙を複数の共著者でやり取りすることになれば、途中で紛失汚損の可能性もあるので注意されたい。**

博士学位論文にかかる共著論文等の使用承諾書

京都大学大学院工学研究科長 殿

下記②の申請者（以下「甲」という。）の学位審査請求論文（京都大学博士(工学））におきまして，下記①の共著論文（資料，作品等を含む。）の内容が 甲 の主たる寄与によるものと認め，当該学位論文の一部として使用することを，以下の前提のもと共著者・所属長（以下「乙」という。）として承諾します。

Ａ．共著者全員の承諾が得られるまでは，本承諾書は効力を有しない。

Ｂ．所属長としての承諾は，資料，作品等の著作権又は所有権が所属先に帰属するものである場合において，共著者

全員の承諾に代えて行うものである。

記

**①承諾の対象となる共著論文（資料，作品等を含む。）**

・題目　：

・著者（全員）　：

・掲載論文誌，会議録等　：

・使用頁　：　　全頁　/　p.　　　　　　〜 p.　　　　　　/　その他（　　　　　　　）

（具体的に記すこと）

・掲載（発表）年月日　:

**②上記①の論文等の主たる寄与者たる博士学位論文申請者　（甲）**

・博士学位論文申請者：

・同申請者の申請時の所属：

・学位審査請求論文題目：

（英文の場合は和訳も記すこと）

**承諾者　(共著者　・　所属長)　（乙）**

・署名　：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印（サイン）

・所属　：

・住所　：〒

・電話 ／ Fax：

・E-mail address　 ：

・権限　：　　　　共著者　　　　・　　　　所属長　　　　（いずれか一方に○を記すこと）

・承　諾　日　：　　　　　　　　　　　　　　　年　　　　　　月　　　　　　日